

西垣泰子先生 略歴



<生年月日>

昭和19年9月8日

<学歴>

昭和39年 4月

武蔵野美術大学 デザイン学部

首席 グラフィックデザイン入学

昭和43年 3月

武蔵野美術大学 デザイン学部

首席 グラフィックデザイン卒業

[芸術学士 (デザイン)]

<職歴>

- 昭和43年 4月 西尾忠久「アド・エンジニアーズ・オブ・トウキョウ (株)」広告デザイン (昭和45年4月まで)
- 昭和45年 4月 「粟津潔デザイン研究室」グラフィックデザイン (昭和50年2月まで)
- 平成 元年 4月 「株式会社・アトリエ・イオス」グラフィックデザイン
- 平成 5年 4月 明星大学 日本文化学部 生活芸術学科 教授 (平成11年3月まで)
- 平成11年 4月 明星大学 日本文化学部 造形芸術学科 教授 (平成17年3月まで)
- 平成14年 私立大学情報教育協会 デザイン部門 部長 (平成16年まで)
- 平成16年 World Independent Networks japan 株式会社 番組審議会委員 (現在に至る)
- 平成17年 4月 情報学部情報学科デジタルクリエイトコースデジタルデザイン 教授 (平成22年3月まで)
- 平成22年 4月 明星大学 教育学部 教育学科 教授 (現在に至る)

<学会および社会における活動等>

- 平成 3年 8月 日本グラフィックデザイナー協会 Association of Japanese graphic designe (現在に至る)
- 平成10年 日本図書設計家協会 Association of Japanese book artifice 権利委員会 (平成17年6月まで)
- 平成10年 社団法人私立大学情報教育協会「サイバー・キャンパス/コンソシアム」デザイン教育発表
- 平成11年 4月 個人研究「グラフィック・デザイン」(研究代表者) (平成17年3月まで)
- 平成12年 4月 個人研究 ビジュアル・メディア (現在に至る)

- 平成12年 4月 日本広告学会（国内学会）会員（現在に至る）
- 平成12年 4月 私立大学情報教育協会 Private university information National Education Association CCCデザイン学グループ 座長2005年度～2007年度（現在に至る）
- 平成17年 4月 個人研究「インタラクティブ・インフォメーション・デザイン」デジタルデザイン（現在に至る）
- 平成20年11月 「インタラクティブ広告デザイン インターネット時代のコミュニケーションデザイン」日本広告学会
- 平成21年 2月 「Webデザインと地域活性化」情報処理学会 グラフィックスとCAD研究会
- 平成21年11月 基調講演Ⅱ「デジタルサイネージを活用した観光行動」信州産学官連携機構（SIS）地域ブランド分野
- 平成22年10月 「Advertising communication 福沢諭吉とジャン・メリエス」日本広告学会
- 平成23年11月 「リミックスremix情報の時代 コミュニケーションの原点は庶民文化」日本広告学会
- 平成24年 8月 SIGGRAPH 2012参加（コンピュータグラフィックス学会）LA.USA

<教育上の業績>

1. 「青梅プログラムコンテスト」平成7年10月10日～平成18年10月17日
2. 学生展開催『紙人絵展』開催 平成8年10月10日～平成8年10月17日
3. 美術大学デザイン関係連合作品展「カミカミテン」開催 平成9年10月10日～平成9年10月17日
4. 『古美術研修旅行奈良・京都』平成10年9月
5. （美術大学デザイン関連学生連合展参加）美術大学デザイン関連学生連合展『紙ING』展開催 平成10年10月20日～平成10年11月2日
6. 『学生ペーパークラフト展』応募。受賞 平成10年12月10日～平成10年12月17日
7. 『アート・ブック展』開催 平成12年10月10日～平成12年10月17日
8. 『カミット展』開催 平成12年10月10日～平成12年10月17日
9. CG-ART協会第二回映像コンテンツプレゼンテーション競演会：応募：受賞 平成13年1月15日～平成13年1月16日
10. 『かみっと』展開催 平成13年10月10日～平成13年10月17日
11. エプソンカラーイメージコンテスト応募受賞 平成13年10月10日～平成13年10月17日
12. 「2003年カレンダー展」開催 平成14年6月10日～平成14年6月17日
13. 『明星大学美術、コレクション展覧会「近代デザインの原点一名作椅子とJosef Albersの『Formulation:Articulation』』平成14年10月10日～平成14年10月17日
14. 「ヨーロッパ美術デザイン研修旅行」平成15年3月7日～平成15年3月22日
15. 「2005年カレンダー：青梅市のダイアグラム展」開催 平成16年6月10日～平成16年6月17日
16. エプソンカラーイメージコンテスト応募 平成16年9月10日～平成16年9月17日
17. 株式会社王子製紙後援「紙展」開催 平成16年10月～平成16年11月

18. 王子製紙株式会社、富士製紙株式会社後援『紙なり』展開催 平成17年10月10日～平成17年10月17日
19. 産学協同「中小企業のホームページデザイン」平成19年4月10日～現在に至る
20. 「多摩ネットワークホームページグランプリ」学生作品参加：企業賞受賞 平成19年9月～現在に至る
21. 産学共同：多摩信用金庫が関係する中小企業のHPデザイン 平成20年4月10日～現在に至る
22. 産学官連携「中小企業のホームページデザイン」 平成23年4月30日～平成23年10月30日
23. 東北大震災被災地研修「石巻、東松島」(石巻ボランティアセンター、石巻市教育委員会、石巻専修大学)平成24年5月1日～平成24年5月2日
24. 東日本大震災の現状研修と教育ボランティア報告書作成 平成24年5月9日
25. デジタルが導入される教育現場研修「株式会社 内田洋行 UCHIDA YOKO CO., LTD」訪問 平成24年5月16日
26. 日本新聞博物館研修（ニュースパーク）平成24年8月4日

<職務上の業績>

1. 西武コミュニティカレッジ主催『図書設計セミナー』講演と実技指導 昭和3年7月10日～平成3年7月17日
2. シンポジウム企画「著作権」平成5年9月10日～平成5年9月11日
3. 明星大学プログラミングコンテスト審査委員 平成6年～平成16年
4. 高度情報化社会におけるデザイン教育 私立大学情報教育協会 デザイン部門座長 平成6年
5. 国立博物館、読売新聞社企画「ピラカントロプス展」イラストコンクール 審査委員及び講評委員 平成8年6月～平成8年7月
6. コンピュータグラフィックス学会シーグラフ参加（USA） 平成14年8月～平成26年8月
7. シンポジウム企画開催「ロックアート」展 企画・司会 平成15年11月5日～平成15年11月15日
8. 新聞掲載「創刊号のパノラマ―近代日本の雑誌・岩波コレクションより」朝日新聞 平成16年9月6日
9. 私学情報協会（サイバーコンソーシアム）オンライン講評システム企画立ち上げ 平成19年5月10日～現在に至る
10. 明星大学主催「アート&デザイン」コンクール審査委員 平成22年11月1日～現在に至る
11. 明星大学教育学部教育学科ホームページ、オリジナルサイトデザイン 平成23年3月1日～現在に至る

<著書等>

1. 「WORKBOOK ON BOOKS ブックデザイナー97人 [人と仕事] 単著 平成8年
2. Book Design 1998 WORK BOOK ON BOOKS2 装丁家103人の仕事 単著 平成9年
3. ポスターデザイン&ブックデザイン 単著 平成10年3月 明星大学研究紀要—日本文化学部—生活芸術学科 (明星大学日本文化学部—生活芸術学科)
4. ポスターデザイン「アイヌ文化の歴史と文化を学ぶ」単著 平成22年6月 教育学部教育学科「自立と体験」(教育学部)

<学術論文等>

1. ポスター・ブック・デザイン 単著 平成5年
2. ブック・デザイン 単著 平成6年3月 明星大学研究紀要 (2)(明星大学青梅校舎)
※デザインした書籍を掲載『花の辞典』シリーズ講談社
3. 「浮世絵版画」と「グラフィック・デザイン」の表現様式 中国蘇州版画の影響から—司馬江漢と安藤広重、葛飾北斎 単著 平成7年3月 明星大学研究紀要—日本文化学部—生活芸術学科 (3)(明星大学日本文化学部生活芸術学科)
4. 日本のビジュアルコミュニケーション「浮世絵版画」にみる日本「グラフィック・デザイン」の表現様式のルーツを探る」no2 単著 平成8年3月 明星大学研究紀要—日本文化学部—生活芸術学科 (4)(明星大学日本文化学部生活芸術学科)
5. (作品掲載)—ブックデザイナー—単著 平成9年3月 明星大学研究紀要—日本文化学部—生活芸術学科 (5)(明星大学日本文化学部生活芸術学科) ※1996年～1997年の間にデザインしたポスター、書籍掲載。ポスター「ピテカントロプス展」東京国立博物館。書籍『千葉県歴史』千葉県。書籍『数はひろがる』岩波書店。その他
6. 日本のビジュアルコミュニケーション「浮世絵版画」と「グラフィック・デザイン」の表現様式のルーツを探る no3 島霞谷、高橋由一、本間郡兵衛 単著 平成9年3月 明星大学研究紀要—日本文化学部—生活芸術学科 (5)(明星大学日本文化学部生活芸術学科)
7. 日本のビジュアルコミュニケーション「浮世絵版画」と「グラフィック・デザイン」の表現様式のルーツを探る no4 平賀源内『風流志道軒伝』の挿絵から 単著 平成10年3月 明星大学研究紀要—日本文化学部—生活芸術学科 (6) 明星大学日本文化学部生活芸術学科)
8. 日本のビジュアルコミュニケーション「浮世絵版画」と「グラフィック・デザイン」の表現様式のルーツを探る no6 歌川広重『名所江戸百景』 単著 平成11年3月 明星大学研究紀要—日本文化学部—生活芸術学科 (7)(明星大学日本文化学部生活芸術学科)
9. 明治時代のメディア「新聞」単著 平成11年3月 明星大学青梅校日本文化学部共同研究論考・第2 平成11年3月 (第2号『表現—目的と手段—』)(明星大学青梅校日本文化学部)
10. (美術大学デザイン関連学生連展参加)「かみざわ」展関連記事掲載 紙業新聞
11. 「作品掲載」『Visions of Religion』フォトイメージ『Visions of Religion』種々の色彩」平成12年3月 明星大学研究紀要8号

12. 『日本のビジュアルコミュニケーションNo6』[神々の記号] インド、ラクナプルのアー
ディナタ寺院。ジャイナ教の宗教建築、ドーム天井彫刻図像から日本の浮世絵図像と
ビジュアルデザイン表現について 単著 平成12年3月 明星大学研究紀要—日本文化学
部—生活芸術学科 (8)(明星大学日本文化学部生活芸術学科)
13. 「作品掲載」『ブックデザイン』単著 平成15年3月 明星大学研究紀要—日本文化学
部—造形芸術学科 (明星大学) ※エディトリアルデザインから装丁まで携わった講談
社刊『花の事典』の書籍と、その書籍に掲載した、青梅キャンパス近辺にて撮影した
花写真の一部を掲載。
14. 「視覚とメディア information design & Computer human interface」単著 平成18年
3月 明星大学情報学部研究紀要 (15)(明星大学情報学部)
15. デザイン学：人材育成のための授業紹介「Webデザイン教育」単著 平成21年9月
大学教育と情報Vol.18 (社団法人私立大学情報教育協会)
16. 人材育成のための授業紹介・デザイン学「Webデザイン教育」中小企業のホームペー
ジデザイン 単著 平成21年9月 社団法人 市立大学情報教育協会18 (2)(社団法人
私立大学情報教育協会)
17. 「地域活性化とWebデザイン教育」単著 平成21年12月 情報処理学会研究報告12
(情報処理学会)
18. 映像メディア表現 (NO1) 単著 平成23年1月 明星大学教育学部研究紀要1 (明星大
学教育学部)
19. 「3・11 ユニセフ東日本大震災報告写真展」ポスターデザイン 国連本部 平成23年9
月
20. リミックスremix広告の時代 原点は庶民文化 単著 平成23年11月 日本広告学会
第42回全国大会 報告要旨集 (日本広告学会)
21. 大学教育への提案「未知の時代を切り拓く教育とICT活用」共著 平成24年11月 (公
益社団法人 私立大学情報教育協会)
22. 「情報の共有はイメージの解放へ」単著 平成25年3月 明星大学教育学部研究紀要3
(明星大学教育学部)
23. 「浅草奥山活人形」と平賀源内の戯作集『風流志道軒伝』単著 平成25年10月 大見世
物報1 (16) 見世物学会東京事務局)

※ほかにポスターやブックデザイン、作品出品など多数。

西垣泰子先生のご退職に寄せて

— Visual Communication Design と花 —

野 沢 二 郎

西垣先生の活動はたいへん多岐にわたりますが、キーワードは何かをご本人に伺ったところ、「Visual Communication Design」とのことでした。文字や図像などの視覚言語を駆使し情報を伝達するデザイン。デザインは常に時代と共にあり、私たちの社会の形成に深く関わってきました。特にデジタル技術が急速に浸透した今日においては、人と社会と情報を繋ぐ存在として重要度が増しております。先生の活動は、まさに情報化の時代に、そしてそのスピードの早さに正面から向き合ってきたと言えるでしょう。

先生は、武蔵野美術大学を卒業後、西尾忠久氏の「アド・エンジニアーズ・オブ・トーキョー」で広告デザインに携わりました。その後、大阪万国博覧会のデザインの仕事をするために「栗津潔デザイン研究所」のスタッフとして建築、音楽、映像制作などに力を注ぎました。日本の高度経済成長の象徴ともいえる万国博覧会には、トップのデザイナーや建築家、映像会社に関わったと聞きます。その中であって先生は、マルチメディアなどの分野で先達から多くを学んだとのこと。その後、デザイン会社を設立し、書籍やポスターなどのデザインでご活躍されます。

1993年に明星大学に赴任し、日本文化学部（造形芸術学部）、そして情報学部において、デジタルデザインを中心に学生を指導しました。学生たちに社会や経済界での自らの役割を理解させる目的で、先生が企画された「中小企業のホームページデザイン」は、実学としてのデザイン教育実践として大きな成果をあげました。2010年からは本学部の美術コースにてデザイン表現を指導していただきました。近年、教育分野においては、情報化が推進され、情報通信機器（ICT）の活用が進んでおりますが、先生は私立大学情報教育協会での活動など、一貫して情報教育の必要性を指摘され、学内においては、教育者を目指す学生たちを牽引してきました。特筆すべきはその教育方法が学生の興味や関心を引く形で行われたことだと思います。例えば1年生は、デジタルメディアのスキル習得の入り口として、アニメーションの原点である「パラパラ漫画」を制作しておりました。先生からデザイン表現の教えを受けた学生たちは、デザインの力を理解し、コミュニケーションの大切さを知り、社会的な視点から情報を捉え、次代を担う子どもたちの教育に力を注ぐものと思います。

ところで、先生は書籍デザインの仕事も多くなされています。リストを調べていてふと目に止まった「四季 花の事典」(講談社)という本、先生の装丁とは知らずに、私の本棚にあったのです。聞けば、この本の中にある花の写真の一部は、先生自らが明星大学青梅キャンパスで撮影したしたものとのこと。思えば、最新のデジタルデザインに携わ

る先生ですが、一方で「花」をめぐるお話もしばしば伺いました。引っ越した隣家から引き受けた芍薬の花のこと、道に捨てられていたシンビジュームを拾い育て、毎年花を咲かせていること。私が最も印象に残っているのは、日本を代表するグラフィックデザイナーの一人であり、先生の師である栗津潔氏への追悼の文章です。文章の中で、デザイン事務所に生けられたタンポポの黄色い色彩が、まるで絵のように印象的でした。先生のなかには、常に新しい技術を持って世界を捉えようとする知性や意志とともに、路傍に咲く一輪の花にも目を向ける心が同居しているのでしょうか。今後のますますのご活躍とご多幸を心よりお祈りいたします。本当にありがとうございました。